

## 平成 29 年度第 1 回四條畷市地域公共交通会議 会議録

日 時	平成 29 年 1 月 21 日 (木) 10:00～12:05
場 所	四條畷市役所本館 3階委員会室
出席者	吉川委員 (会長)、浅井委員 (副会長)、大竹口委員、福田委員、川添委員、櫻井委員、佐々木委員、丹治委員、西川委員、田内委員、原委員、渡部委員、足立委員、平委員、福島委員、丸山委員、板谷委員、岸本委員、笹田委員、杉本委員、南森委員、西岡委員、藤岡委員 東市長、林副市長
事務局	二神都市整備部長、野田都市整備部建設課交通政策担当課長、吐田都市整備部上席主幹兼主任、永野都市整備部建設課主任、岡市都市整備部建設課主査、吉田都市整備部建設課係員 株式会社社長大大阪支社 木原、本多、岡庭、田中
欠席者	市川委員、橋本委員、湯川委員、布田委員、芝田委員、溝口委員
議事	1 開会 2 委員の紹介 3 議題 (1) 会長及び副会長の選出 (2) 地域公共交通会議について (3) 四條畷市の現況について (4) 公共交通に関する市民意識調査について 4 その他 5 閉会
資 料	資料 1 四條畷市地域公共交通会議の概要 資料 2 四條畷市の現況 (地域、交通) 資料 3-1 公共交通に関する市民意識調査 実施計画 (案) 資料 3-2 公共交通に関する市民アンケート調査のご案内 (案) 資料 3-3 公共交通に関する市民アンケート調査票 (案) 参考資料 四條畷市地域公共交通会議条例 参考資料 四條畷市地域公共交通会議規則 参考資料 審議会等の会議の公開に関する指針 参考資料 四條畷市地域公共交通会議傍聴要領 参考資料 四條畷市地域公共交通会議委員名簿
1 開会	
事務局	<p>それでは、定刻となりましたので、四條畷市地域公共交通会議を開催させていただきたいと存じます。</p> <p>皆様方には、お忙しいところお集まりいただき、まことにありがとうございます。早速ではございますが、次第に基づき、始めさせていただきます。ここからは着座にて進行させていただきます。よろしくお願ひします。</p> <p>本日の出席委員 23 人、欠席委員 6 人でございます。</p> <p>参考資料の四條畷市地域公共交通会議規則をご参照ください。</p> <p>四條畷市地域公共交通会議規則第 3 条第 2 項の規定に基づき、委員の過半数以上の出席をいただいているので会議が成立していることをご報告いたします。</p> <p>ここで、委員の皆様にお諮りします。</p>

事務局	<p>本会議の傍聴につきましては、審議会等の会議の公開に関する指針に基づく手続により許可することとしてよろしいですか。また、本会議の会議録の作成を趣旨に会議内容を録音させていただいております。異議ある場合は挙手にてお知らせください。</p> <p>(挙手なし)</p> <p>挙手がなかったので、異議なしとさせていただきます。それでは、傍聴者の入場、本会議の傍聴及び審議内容の録音をさせていただきます。</p> <p>本日は第1回の会議でございますので、会長が決定されるまでの間、事務局で議事進行をさせていただきたいと存じます。</p>
<h2>2 委員の紹介</h2>	
事務局	<p>それでは、今回初めての会議であり、初対面の方もいらっしゃるの、事務局のほうから委員の方を紹介させていただきますので、お名前をお呼びしましたら恐れ入りますがその場でご起立、ご着席をお願いいたします。</p> <p>(委員の紹介)</p>
事務局	<p>以上でございます。皆様、ありがとうございました。</p> <p>次に、本日ご都合により欠席されている委員として、近鉄バス株式会社営業部乗合営業課長の市川功様、奈良交通株式会社自動車事業本部乗合事業部経営路線グループ総括課長の橋本倫尚様、国土交通省近畿運輸局大阪運輸支局首席運輸企画専門官（総務企画担当）の湯川義彦様、奈良交通労働組合副委員長の布田尚弘様、四條畷市教育委員会教育部次長兼学校教育課長の芝田孝人様、四條畷市健康福祉部子ども室子ども政策課長の溝口直幸様が、本会議にご参加していただいておりますことをご報告申し上げます。</p> <p>次に、行政側職員及び事務局を私のほうから紹介させていただきます。</p> <p>(行政側職員及び事務局の紹介)</p>
事務局	<p>それでは、会議の開催に先立ち、改めまして、市長の東からご挨拶を申し上げます。よろしく申し上げます。</p>
市長	<p>改めまして、皆さん、おはようございます。ご紹介いただきました四條畷市長の東修平です。</p> <p>本日は、ほんとうに年末の公私何かとお忙しい中にもかかわらず、このように会議にご参加くださりまして、まことにありがとうございます。また、この場におられます皆様方におかれましては、本市市政のあらゆる分野において、平素、ご理解、ご協力、熱いご支援を賜っておりますこと、この場をおかりしまして御礼申し上げます。いつもまことにありがとうございます。</p> <p>重ねて、今回それぞれ委員にご就任いただくに際して快くお引き受けくださったことに対しましても、重ねて御礼申し上げます。ほんとうにありがとうございます。</p> <p>さて、本日、公共交通のあり方ということで、第1回の地域公共交通会議を開催させていただきます。</p> <p>皆様方にはご案内のとおり、四條畷市というのは非常に地理的に特徴的なものを</p>

<p>事務局</p> <p>市長</p>	<p>備えた、東部地域と西部地域というような特徴的な性質を備えたまちでございます。その中におきましても、また、市といたしましても、特に東部地域では住民組織、住民それぞれが委員となって活性化を進めていく田原活性化の対策本部というもので、地域の皆さんの声を聞かせていただきながらまちづくりを進めております。そこでも、やはりコミュニティバスであったり、公共交通に関する関心というのは非常に高いものがございます。</p> <p>さらに東部地域だけではなくて、西部地域におきましても、駅に近い地域ではない地域においては、外出の手段のバスであったり、病院に行く手段のバスであったり、公共交通に対する関心は非常に高いものになってございます。</p> <p>そうした中で、本日は学識経験者の方や、それぞれ公共交通に携わる方々、あるいは地域の声を代表していただく市民の方、そして行政機関、そして関係団体と、様々な方々に会に参画していただき、本市の実情に即した公共交通はどのようなものかということのあり方を検討していくために、この地域公共交通会議というものを設置させていただくというような運びになりました。</p> <p>どうか皆様方におかれましては、現状も見据えながら、四條畷市にとってどういう公共交通がいいのかということをおま一度ご指導、ご鞭撻を我々にいただけますようよろしくお願い申し上げます。甚だ簡単ではございますが私からの挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。</p> <p>市長、ありがとうございました。        なお、市長につきましては、この後公務がありますので、都合によりここで退席させていただきます。</p> <p>よろしく願いいたします。</p> <p>(市長退席)</p>
<p><b>3 議題</b></p>	
<p>事務局</p> <p>委員</p> <p>事務局</p>	<p>(1) 会長及び副会長の選出</p> <p>それでは、本日の会議、3 議題(1) 会長、副会長を選出していただきたいと存じます。</p> <p>まず最初に、会長、副会長の役割についてご説明申し上げます。        参考資料の四條畷市地域公共交通会議規則をご参照ください。</p> <p>会長におかれましては、第2条第1項の規定のとおり、会務を総理していただき、会議を代表していただきます。また、副会長におかれましては、同条第2項の規定に基づき、会長を補佐していただきたいと存じます。</p> <p>選任方法でございますが、同条第1項の規定のとおり、委員の方々の互選となっております。</p> <p>ご推薦はございませんでしょうか。</p> <p>事務局一任。</p> <p>ありがとうございます。        ただいま委員から意見がありましたので、事務局から、会長及び副会長の選出についてご提案させていただきますが、ご異議ございませんか。</p> <p>(異議なし)</p>

事務局	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、大学の教授であり、学識経験も豊富なことから、会長には大阪産業大学教授の吉川委員を、また副会長には、本市区長会の会長でもあり、地域の状況においても精通されていることから浅井委員にお願いしたいと存じますが、いかがでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、拍手をもってご承認とさせていただきたいと存じます。</p> <p>(拍手)</p>
事務局	<p>それでは、吉川委員におかれましては会長を、また、浅井委員におかれましては副会長をよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、会長に吉川委員、副会長に浅井委員を決定させていただきました。両会長席にお移りください。</p> <p>それでは、会長から一言お願いいたします。</p>
会長	<p>改めまして、大阪産業大学の吉川でございます。</p> <p>ただいま皆様にご推挙いただきまして、会長に就任させていただくことになりました。一言ご挨拶を申し上げたいと思います。</p> <p>ご存じのとおり、ただいまも説明がありまして、公共交通会議、地域における需要に応じた住民の生活に必要なバス等の旅客輸送の確保、その他旅客の利便の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項、これを委員の皆さんとともに協議していくという会でございます。</p> <p>交通というのはその地域のシビルミニマムでもあるとともに、そうした高齢者、いわゆるトランスポーターションプアの問題をどうしていくのか、あるいは、私も都市計画、交通計画の研究者ですが、交通というのは思いのほかまちのにぎわいだとかまちの活性化に影響を与えるということを身にしみてきております。</p> <p>そういった意味で、ほんとうに今日も各分野の委員の皆さんがいらっしゃると思いますが、様々な分野の方が寄り合って、そして、しっかりと考えていくべき項目、施策であるというふうに考えております。</p> <p>そういったことで、なかなか私みたいな微力の者ではうまく会議を進行できるかどうかかわからないですが、今言いましたように方向性、それから四條畷市のあり方を考えていく会議だということで、一方で会議を総理し、交通会議を代表するということで、ちょっと身の引き締まる思いでございます。</p> <p>繰り返しますが、微力ながら円滑な会議進行に努めていきますので、皆様方もよろしくご支援のほどお願いしたいと思います。</p> <p>簡単ではございますが、ご挨拶にかえさせていただきます。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>副会長からも一言ご挨拶をお願いいたします。</p>
副会長	<p>ただいま皆様方からご推挙いただきました区長会の浅井でございます。</p> <p>地域公共交通会議の副会長ということに当たりまして、一言皆様方にご挨拶を申し上げます。</p> <p>これから議論していく四條畷市の公共交通につきましては、地域住民としての立場から、また副会長といたしまして議事を取りまとめていく立場からも、その職務の大きさを実感いたしておるところでございます。</p>

事務局	<p>ただいま、吉川会長を補佐しまして、会長とともに会議の円滑な進行に務めてまいりたいと存じます。どうぞよろしく願いをいたします。</p> <p>以上をもちまして、簡単ではございますけれどもご挨拶といたします。皆さん、どうもありがとうございます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、本日の次第に入ります前に資料のご確認をさせていただきたいと思えます。</p> <p>まず、資料1 四條畷市地域公共交通会議の概要、資料2 四條畷市の現況（地域、交通）、資料3-1 公共交通に関する市民意識調査 実施計画（案）、資料3-2 公共交通に関する市民アンケート調査のご案内（案）、資料3-3 公共交通に関する市民アンケート調査票（案）</p> <p>また、参考資料としまして、四條畷市地域公共交通会議条例、四條畷市地域公共交通会議規則、審議会等の会議の公開に関する指針、四條畷市地域公共交通会議傍聴要領、四條畷市地域公共交通会議委員名簿、全ておそろいでしょうか。</p> <p>なければ挙手でお知らせください。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、ここから会長に議事の進行をお願いいたしたいと存じます。よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>それでは、これから議事に入りたいと思います。</p> <p>まずは、3 議題の（2）地域公共交通会議につきまして、ここから進めていきたいと思えます。</p> <p>まずは、事務局のほうからこの議題についてご説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p><b>（2）地域公共交通会議について</b></p> <p>それでは、資料1、四條畷市地域公共交通会議の概要を説明いたします。</p> <p>資料1、四條畷市地域公共交通会議の概要をご覧ください。</p> <p>まず1、背景と交通会議の目的ですが、四條畷市では平成16年度からコミュニティバスを運行しておりますが、高齢化社会等によるニーズの多様化、利用者数が少ない路線があることや、市民から利便性の向上等の要望がある中で、コミュニティバスを含め、公共交通のさらなる充実に向けた取り組みが必要であると考えております。</p> <p>そのような中で、今年度は6月に四條畷市公共交通会議条例を制定し、地域公共交通会議を立ち上げまして、本市の地域や公共交通等の現状を把握・整理するとともに、市民の移動実態や移動ニーズを把握するアンケート調査を実施します。そして、これらの結果をもとに、公共交通の問題・課題を抽出し、その問題・課題解決に向けた今後の四條畷市の地域公共交通に関する方向性を示していきたいと考えております。</p> <p>続いて、2、スケジュール（予定）です。</p> <p>今年度のスケジュールとしましては、第1回交通会議、本日でございます。主な議題は、地域公共交通会議の概要、四條畷市の人口や公共交通の現状、公共交通に関する市民意識調査についてとなります。</p> <p>市民意識調査、アンケートの実施は、来年の1月4日にアンケート調査票を発送し、1月15日を回答期限として実施の予定をしております。アンケートの回収後、平成30年2月頃に第2回交通会議を予定しており、仮称ですが、地域公共交通計画（原案）について議論していただきたいと考えております。</p> <p>地域公共交通計画（原案）は、本市の地域や公共交通の現状、市民意識調査結果から公共交通の問題、課題等を抽出し、その問題、課題等の解決に向けた公共交通の基本方針、その基本方針を満足するための本市において導入が想定される対策手</p>

	<p>法を整理し、取りまとめたもので、原案としてご提示後、委員皆様のご意見をいただき、（仮称）地域公共交通計画（素案）として策定したいと考えております。</p> <p>来年度以降のスケジュールにつきましては、平成30年度は、本年度に策定した（仮称）地域公共交通計画（素案）をもとに地域公共交通計画を策定し、その計画の中で新たな公共交通を導入する場合は、実証運行計画を策定したいと考えております。</p> <p>平成31年度は、その実証運行の実施や実験を踏まえた本格運行に向けた見直しを行い、平成32年度は、公共交通を改善した内容で運行を開始したいと考えております。</p> <p>また、委員の皆様には、平成31年度に予定している本格運行の見直しに係るご意見までをいただきたいと考えております。</p> <p>以上で、資料1の説明を終わります。</p>
会長	<p>今、資料1、四條畷市地域公共交通会議の概要について事務局からご説明をいただきました。</p> <p>説明いただいた内容につきまして、ご質問、ご意見等がございましたらお願いをしたいと思っております。いかがでしょうか。</p>
委員	<p>これに対して私たち委員というのはどんな動きをさせてもうたらいのかということをお聞きしたいのですけど。</p>
会長	<p>事務局のほうからご説明願います。</p>
事務局	<p>お答えさせていただきます。</p> <p>まず、資料1のとおり、アンケート等を実施します。</p> <p>また、現況等を踏まえまして、いろんな課題を抽出させていただいて、それをまとめた形で、ここに書いていますとおり、仮称の地域公共交通計画の原案というのを市のほうで策定させていただきます。まずはその原案に対して委員の皆様から多方面の形でのご意見をいただくということが、まず初めにやっていただくことかなと存じております。</p> <p>以上でございます。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p>
会長	<p>よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>ええ。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ほか、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>送ってきてもらった資料を全部読ませていただいて、目的ですけれども、ちょっとよくわからなくて。バスを利用しやすいように考えるのか、利用してもらうために考えるのか、どちらでしょうか。</p>
事務局	<p>公共交通会議の条例の設置の趣旨にもありますように、まずは地域における需要に応じた住民生活に必要なバス等の確保を図ると。それと、利便の増進を図ると。それで、地域に即したサービスの実現に必要な事項を協議するということでもありますので、あくまでも利便性の向上という観点が大事かなと考えてございます。</p>

<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。言えば両方ですね。要するに交通なので、しやすくして、できる限り使ってもらおうというお話だと思っています。</p> <p>無理やり使わずのも変な話で、利便性を向上して、皆さんが、今まで使えなかった人も使えるようになれば使ってもらえるということだと思います。</p> <p>先ほどのご質問も含めて、この会議、委員としては、皆さんからとにかくご意見をいろいろといただきたいということを考えています。ただし、意見を百出して、例えばアンケートも実際すぐ実施しなければならないですし、地域公共交通計画もきちっと策定するというのも一方でタスクですので、この妨げになってしまうとまずいですが、基本的に先ほどご説明いただいた項目はちょっと事務的な話かなというふうなイメージはありますけれども、こういったタスクの、事務的なタスクかもしれないかもしれませんが、その中でいろんなご意見をいただいて、うまく集約して、皆さん、委員協議ということですので、集約していければなというふうには思っております。</p> <p>いかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>市民アンケートをされるということで、どうしても多分こういう市民アンケートをされますと、運賃を下げしてほしいとか増便してほしいとかいう意見が多々出てくると思います。</p> <p>事業者も今、乗務員不足とか収支状況も非常に悪いという中で、先ほどの事務局の答弁で利便性向上を第一にというような趣旨のご発言があったと思うのですが、私も事業者としましては、今の状態でバスをどうやって残していくのだ、どうやったら利用いただけるのかといったあたりも、重点項目の1つとしてこの場で議論いただけたらなと思っておるところでございます。</p> <p>以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>それも含めて。ほんとうにそうですね。事業としても成り立たないと意味がないということになります。</p> <p>いかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>この資料1の1の背景と交通会議の目的の2行目の、利用者が少ない路線というふうに上げられているのですけれども、そういうことを意識しながら、利用しやすいようにとか利用してもらうためにと考えていくことであって、利用しやすい路線をなくすということを考えていくのではないですね。一応そういう路線も利用してもらうためにはどうしたらいいとか、そういうことも協議していくのですか。それとも、利用が少ないからこれはやめようと考えていくのでしょうか。</p>
<p>会長</p>	<p>市のほうから方針を。事務局のほうからお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>利用が少ないというふうに主に書いているのですが、コミバスにつきましても西部地区の循環ルートが現実的には少ないという状況下にあるのですけれども、これが少ないからなくしていく、多いところはもっと少なくすとか、そういう定まった路線というのが今ございません。その中で、今、この公共交通会議を通じた中で、いろんな問題点を洗い出した中で、今後の公共交通会議を通じて方向性を定めさせていただくという中身になってございまして、今のところ、少ないからなくしていくとか、そういう方針が市のほうで出ているということではないということでご理解いただきたいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>よろしいでしょうか。</p>

委員	<p>ありがとうございました。</p>
会長	<p>先ほど市長さんともちょっとお話をしました。もちろん市の財政の話だとかはあります。交通については、何でもあるにこしたことはないわけで、あれもこれもと出てくるわけですね。</p> <p>我々委員はほんとうにあるべき姿を考えていけばよくて、市の財政事情だとかはそこまで市長にかかわって考える必要はないと。よかれと思うものはどんどん頭出しをしていただいて、でも、一方でこのアンケート調査結果とか現実が出てくるわけですね。それを両方でらみながら、純粹にといいますが、四條畷市にとってあらゆる住民の皆さんが便利と思う交通の形を考えていければなと思っております。</p>
委員	<p>全国で、過疎地域なんかで乗り合いバスというのですか、ボランティアとかの輸送形態というのがあると思うのですが、費用対効果の話になると、非常に前向きにできるところとそうでないところとあると思うのですが、そういう全国の成功例みたいなものを逆に調査していただいたほうがいいと思います。</p> <p>以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>そうですね。今すぐは準備できませんが、私もちょっとはいろいろやってきたところもありますし、お手伝いいただいています長大さんも経験豊富な方ですので、次の会議からになるかもしれませんが、必要に応じていろんな実例は出していきたいと思えます。</p> <p>ただ、それをそのままねしても多分うまくいかない。市長のご挨拶にもあったように四條畷市の現況に合った、実情に合ったものと考えていかなければならないということで、それをもとに発展的に考えていかなければならないと思っています。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、(3) 四條畷市の現況について、事務局のほうからご説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p><b>(3) 四條畷市の現況について</b></p> <p>それでは、現況（地域、交通）について説明いたします。</p> <p>資料2、四條畷市の現況（地域、交通）をご覧ください。</p> <p>2 ページ目の目次ですが、地域の現況としまして人口や施設の分布状況、交通の現況としまして人の動き、バスの状況を整理しております。</p> <p>3 ページをご覧ください。人口の推移を整理しております。</p> <p>平成22年度までは国勢調査による実績値で、平成27年からは平成27年10月に策定した本市人口ビジョンの中での推計値となっております。</p> <p>本市の人口は、平成22年の国勢調査による実績値、約5万7,600人がピークとなっております。グラフでは、平成27年以降は推計値のため、人口の実績値は記載しておりませんが、平成27年の国勢調査による実績値は約5万6,100人となっており、穏やかな減少に転じております。</p> <p>本市人口ビジョンでは、今後、維持・確保のための施策を展開することで、平成62年(33年後)には約5万1,000人となることを目指しております。また、平成62年時点では、年少人口7,804人、15.3%、生産年齢人口2万6,523人、52.0%、老年人口1万6,679人、32.7%と推計しており、生産年齢人口の割合が減少し、老年人口の割合が増加する傾向となっております。</p> <p>4 ページをご覧ください。人口分布の状況を整理しております。</p> <p>本市の人口は市の西部と東部に集中して分布しており、特にJ R沿線から外環状線(国道170号)の間周辺に多く分布しております。一方で、市の中央部は山地であり、人口は少ない状況です。</p>

続いて、5ページをご覧ください。高齢化率の状況を整理しております。

65歳以上が人口に占める割合を高齢化率として、その分布状況を示しております。逢阪地区、下田原地区、上田原地区で高くなっており、西部では国道163号より南側の地区で高くなっており、国道163号より北側では比較的低い地区が多い状況となっております。

また、左下図では、平成29年3月末の住民基本台帳より、本市域を東側から上田原、下田原、田原台、緑風台、さつきヶ丘で構成される田原地区、その西側の残りの地区を国道163号とJR学研都市線で区分した北西地区、北東地区、南西地区及び南東地区と区分し、それぞれの地区で75歳以上の高齢化率とともにその状況を示しており、南西地区が最も高くなっております。

続きまして、6ページをご覧ください。施設の分布状況を整理しております。

市西部のJR沿線から外環状線(国道170号)の間に、公共施設、商業施設等、多くの施設が分布しております。

7ページをご覧ください。交通の現況としまして、通勤・通学における四條畷市周辺の流入・流出状況を整理しております。

四條畷市における平成27年の通勤・通学の流出人口は1万8,548人、流入人口は1万193人であり、流出人口のほうが約1.8倍になっています。また、市から流出が最も多い自治体は大阪市であり、市への流入が最も多い自治体は寝屋川市となっております。なお、流入先及び流出先は最初と最終の地点を示しており、例えば四條畷市を出発し、生駒市を経由して大阪市を最終到着地点とした場合は、流出先が大阪市となります。

続きまして、8ページをご覧ください。パーソントリップ状況になります。

パーソントリップ調査とは人の動きを調査したもので、例えば移動の出発点や到着地、目的、移動手段、時間帯を把握したもので、今回は移動手段のデータを整理しております。また、1回の移動で複数の手段を使われる場合もありますが、その場合は移動の代表となる交通手段を集計したものととなります。

四條畷市の住民の移動手段は、自動車の割合が30.0%と最も高くなっております。一方で、鉄道やバスの公共交通の割合は約18.7%と、大阪府内の隣接自治体と比べ低い状況となっております。

続いて、9ページをご覧ください。バスの概要を整理しております。

本市内を運行するバスは路線バスとコミュニティバスがあり、各ルートは本市の西部と東部を中心に運行しています。本市内を運行するコミュニティバスとしては、四條畷市が運営しているもの以外に寝屋川市のコミュニティバス「タウンくる」があります。

続いて、10ページをご覧ください。路線バスについて整理しております。

路線バスは、京阪バス、近鉄バス、奈良交通が運行しております。京阪バスと近鉄バスは主に四條畷駅と周辺住宅をつないでおり、奈良交通は東部の田原地区から近鉄生駒駅間を運行しています。平日の運行便数としまして、国道170号の塚脇バス停では、京阪バスが1日往復で176便、近鉄バスが80便となっており、奈良交通は田原小バス停で1日往復176便となっております。

続いて、11ページをご覧ください。コミュニティバスについて整理しております。

コミュニティバスは、市民の日常的な交通手段を確保するため、市が運営しており、運行は京阪バス株式会社が行っており、主に西部のJR学研都市線四條畷駅及び四條畷駅と東部の田原地区をつなぐ東西線と西部のJR学研都市線四條畷駅及び忍ヶ丘駅を起・終点で循環する西部線があります。

東西線は7ルートあり、平日で1日72便、土曜・休日で67便です。西部線は2ルートあり、平日で1日14便、土曜・休日で6便です。利用者数は、この後の資料で説明いたします。

続いて、12ページをご覧ください。コミュニティバスの利用者数を整理しております。

平成28年度のコミュニティバスの利用者は、運賃収入からの推計値で約38万

	<p>人です。利用者数は、平成26年度から28年度にかけてやや減少傾向となっております。</p> <p>続いて、13ページをご覧ください。コミュニティバスの各ルート別の利用状況を整理しています。</p> <p>東西線は7ルートで、1便当たりの利用者数は平均約5人から23人です。また、西部線は2ルートで、1便当たりの利用者数は平均約2人から3人となっております。最も利用者が多いルートは田原4Aルートで、1便当たり約23人です。このルートは今年度の4月から追加したルートです。</p> <p>最後になりますが、14ページをご覧ください。バスの空白地域を整理しています。</p> <p>バス空白地域について、明確な定義はありませんが、一般的にバス停から半径300メートル圏外をバス空白地域とされております。本市では、人口が集中している地域を500メートルメッシュ人口が1,000人以上とした場合、おおむね人口が集中している地域において路線バスとコミュニティバスが運行していることから、人口集中度合いを加味し、バス停から半径300メートル圏外かつ500メートルメッシュ人口が1,000人以上の地域でのバス空白地域は、一部のみとなっている状況です。</p> <p>抽出したバス空白地域は6カ所となっており、①は砂一丁目から砂四丁目、大字中野、大字薮屋の一部、②は岡山二丁目、五丁目の一部、③は岡山東五丁目の一部、④は美田町、江瀬美町の一部、⑤は雁屋北町、雁屋南町、楠公一丁目の一部、⑥は南野二丁目から南野四丁目の一部となっております。</p> <p>まことに簡単ではございますが、以上で、資料2の説明を終わります。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>盛りだくさんの資料が出てきまして消化不良になりそうなところもありますが、いかがでしょうか。ご質問等をいただければ。</p> <p>多くの場所で30年後には人口が半分になるところもある中で、比較的もちこたえるだろうという推計が出ています。一方で、高齢者の高齢化率の状況がありました。現在の状況、これは65歳以上と書いてありますが、33年後では98歳ですから、逆に今から40歳あたりのところを見ないとなかなかわからないところがあると思うのですが、いずれにせよ高齢化率は高くなっていくだろうと。</p> <p>それから、今説明を聞くと、やはり東西線というか、田原地区の話と駅周辺の西部地区と言っているのでしょうか、市長が最終的に総合的に考えられるのでしょうか、少し分けて考えていかなければならないかなと思います。</p> <p>いかがでしょうか。まずは田原地区のほうでご意見を。私もそれこそよくわかっていないところもありますので。</p> <p>それと、もちろん市の皆さんはわかっておられるのでしょうかけれども、様々な機関の方もおいでですので、率直な感想とかもお話をいただければありがたいかなと思っておりますが、いかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>意見ではありませんが、資料のことについて聞きたいのですが、いいですか。</p>
<p>会長</p>	<p>まずは資料そのものについてご質問とかあればお願いします。どうぞ。</p>
<p>委員</p>	<p>7ページの交通の現状ですけれども、四條畷に隣接した市のところのデータを出してもらっていると思うのですが、交野市がないのはどういうことでしょうか。そんなに流出とかはないので省いているということでしょうか。</p>
<p>会長</p>	<p>事務局お願いします。</p>

事務局	<p>大体500人から1,000人以上で周辺の近隣市町を整理しまして、交野市は少なかったのが載せていなかったということです。</p>
委員	<p>ありがとうございました。</p>
会長	<p>ほか、いかがでしょうか。資料に対するご質問があれば。</p>
委員	<p>7ページですが、大阪市に非常に流入されていることについて、何か分析されたことはあるのでしょうか。数字をまとめられただけの話でしょうか。</p>
会長	<p>事務局お願いします。</p>
事務局	<p>流入・流出人口というのは国勢調査でされていますので、それを整理したということで、分析はまだしていません。</p>
委員	<p>大阪市自体は非常に利便性があるということで、大阪市内に集まってきておるといのは聞いたことがあり質問いたしました。それで結構でございます。ありがとうございます。</p>
会長	<p>そうですね。国勢調査ということは西部と東部というようにもっと分けることができますか。</p>
事務局	<p>基本的には分けることができません。 1市町の中からどこに行ったのかというものしか今データはありません。</p>
会長	<p>なるほど、なるほど。残念ですね。ある意味、田原地区から大阪市へ行くのであればJRを使うかもしれないし、その辺がわかればよりいいんでしょうけれども、やっぱり資料の制約がどうしても出てきて、全体として見るしかないということですか。</p>
委員	<p>6ページの地域の現状ですが、四條畷市の主な施設の一覧の教育施設のところに電通大と四條畷学園と書いてあるのですけれども、田原には専門学校があり、それが書いていないのはどういうことなのか説明してもらいたいなど。かなりの学生の方が来られているのですけれども、書いていないのは何か理由があるのですか。</p>
事務局	<p>書いていないことに対して意図はございません。西部地域におきましても、かなり地図が小さいもので、全て入れますと煩雑になるということで、主なということで記載しているわけでご覧になって、意図があって抜いているということではございませんのでご理解いただきたいと思っております。</p>
委員	<p>わかりました。</p>
会長	<p>ありがとうございます。 田原地区の皆さん、結構コミュニティバスをこれだけ長距離走らせていることについて、あまり事例がなく、率直な感想としては頑張っていると思うのですが、どうですか。使いでというか、便利な市民の足にはなっていますよね。いかがでしょう。</p>

委員	<p>田原地域については、実はこの調査とは別に田原地域だけ限定した「日々の暮らしに関するアンケート」というのをさせていただいております。田原地域全世界を対象に、コミュニティバスの運行状況とか奈良交通の運行状況についての満足度を調査させていただいた資料がございます。</p> <p>それについてはまた事務局のほうに提示させていただきますので、それを見ていただいたらわかるのですが、コミュニティバスについての不満は非常に大きいというのが現状としてあるということを今発表させていただきます。</p>
会長	<p>大きいのですか。コメントはしにくいですが、要望は聞けば幾らでも出てくることは間違いないでしょうね。そこをうまく考えていかなければなりません。わかりました。</p>
事務局	<p>今のことについて、直接的なお答えになるかどうかなんですけれども、この会議の中の次の議題でもございます住民のアンケート調査というのもこの公共交通会議の中でたいていいただくのですが、それを来年の1月に実施を予定しています。その住民の意識調査と、それとプラスアルファ、田原のほうで行っております「日々の暮らしのアンケート」という内容も踏まえまして、今後の問題、課題の抽出に役立てたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>そうですね。次のところと相当絡む話だと思います。</p> <p>一方で、西部線と言われているコミュニティバスですが、乗客数は少ないですね。2人程度、2、3人しか1便当たり乗っていないということです。</p> <p>これはいろいろ考え方がありまして、独立採算で例えれば赤字で撤退するという話になります。だからこそ、市さんがコミュニティバスとして走らせていると。でも、あまり少ないのであればまた違う方策も考えなければならぬかもしれません。</p> <p>実感としてどうですか。西部地区、四條畷駅周辺などにお住まいの方いかがですか。</p> <p>ご発言がもしあれば、いただけますか。</p>
委員	<p>私が住んでいるところは東小学校西部地域のほうになりまして、あと、バスの空白地帯のところにもなっています。南野二丁目あたりになります。</p> <p>ふだん生活している中で、正直、コミュニティバスを目にする機会も少なく、私は参道周辺に住んでいるのですけれども、そこもバスは通っているはずですが、あまりコミュニティバス自体を見ることもなく、それで行くのであれば、正直、徒歩で四條畷駅に行くなりするほうが便利なのではないかというような判断で、皆様歩いて行ったりだとか、自転車で行ったりだとかという形で、コミュニティバス自体に乗るという機会がほんとうに少ないと思います。</p> <p>おそらく私も1回コミュニティバスに乗ったことがあるのですが、田原地区に行くときのみに乗ったというような現状で、四條畷の西部地域自体を回ろうという目的で乗ることは、西部地域の人たちにとっては基本的にはないと思います。</p> <p>公共の京阪バスさんだとか、あと、近鉄バスさんだとか、四條畷駅を起点に発着されているかと思うのですが、その場合でもおそらくJRに皆さん乗って大阪市のほうに流出している。あと、通学だとかもJRに乗って、学研都市線に乗ってという形のほうが多いのではないかなと思います。</p> <p>あと、これは私の感想といいますか、いつも思っていることですが、駅周辺の道幅が狭過ぎて、コミュニティバスの大きさだと、まあまあ、通りやすいのですけれども、正直、自転車が1台ちょっと出ているだけでも、一度ストップして運転士さんがいつも直してからでないといけないような道幅のところだったりとかという形で、これはいいのかなと思います。都市計画にもなるのかも</p>

<p>会長</p>	<p>しれないのですけれども、道幅だとか、おそらくバスが通っていないところはそういう理由もあって、道幅が狭いだとか、あと、交通ルールもあってのものだとは思いますが、もう少しそういうものが整備されてバスが通れば皆さん乗るようになるだろうし、便数も増えるだろうというようには思います。</p> <p>以上です。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>まさに、都市計画に絡む話なので、総括的には我々は地域公共交通会議ですけれども、最初にも申し上げたとおり全部かかわっていくのですよね、都市整備の話も。もちろん都市整備の担当課長さんもうらっしゃると思うのですが、逆にここから提案できる話というのは多分あるのかなというふうには思っています。</p> <p>なかなか道幅の話はいかんともしがたいのですが、例えばコミバスが必要であると、通れるようにしたいということを理由としては道路整備ということももちろんあり得る話で、ぜひ提案型にしていきたいなと思うところです。</p>
<p>委員</p>	<p>もう1点。11月のかかりに、区長会で各地区の問題点を出してもらいたいという話がありました。</p> <p>私は岡山地区ですが、岡山の山手のほうはコミュニティバスが走っているのですが、非常に本数が少なくなって、しかも路線が一部需要がないということで廃止されたところもあるというところのほうから、もうちょっと便数を増やしてほしい、また、バス停を整備してほしいという問題点が山手地区のほうからは非常にたくさん出ておりました。</p> <p>一応、市のほうへは問題点を抽出してお渡ししておりますけれども、非常に需要が少ないから便数をなくしたとか路線をなくしたとかいうことになっておるのだろうと私は思っておりますけれども、その辺を今後どういう形で復活していただけるか、もっとほかに何か輸送手段がないのかということについては、またいろいろご議論いただければありがたいなと思っております。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>だから、アンケートが多分大切になってくるのでしょうかね。見かけだけでいくと、乗ってないと。もちろん歩いていける人は歩いて行くというお話がありました。ところが、実際に2、3人乗っておられる方ってどういう人なのか。ほんとうにコミュニティバスがなければどこにも行けない人なのか、あるいは、もう少し、例えば便利にしたりルートを変えればもっと潜在的な需要というか、どうしようもない人が乗ってくれるのか、そのあたりをほんとうに吟味しないといけないと思います。</p> <p>民間であれば、普通は需要がなければ廃止になるわけです。需要がないのは意味がないという話になるわけですが、市が市民のためにやるものというのは、本当は行きたいのだけど動けないという住民をいかに拾っていくかということですから、今のコミュニティバスの形態がいいのか、また違った、それこそほかの事例も考えて勉強して、いい方法を考えていきたいと思うのですが。</p> <p>どうでしょうね。よろしいでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>今、ご貴重な意見、ありがとうございました。</p> <p>そういったことがいろいろございますので、まずはやはり実際にお使いいただいている方の実態、誰が、何の目的で、どういったところに行っているのかということ把握する必要があるということでございますので、次の議題になりますけれども、このアンケート調査を行わせていただいて、その辺の実態を、データとしてつかませていただいて、次の今後の公共交通のあり方等につきまして、方向性でありますとかその辺を決めていく上で、その内容を踏まえた上で検討させていただきたいと考えているところでございます。</p>

<p>会長</p>	<p>はい、わかりました。 意見を出していただきましたが、それを踏まえて問題意識も共有できたと思いますので、(4)の公共交通に関する市民意識調査について、事務局のほうからご説明をお願いしたいと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p><b>(4) 公共交通に関する市民意識調査について</b></p> <p>それでは、公共交通に関する市民意識調査についてご説明いたします。 資料は3-1から3-3でございます。資料3-1、公共交通に関する市民意識調査 実施計画(案)をご説明いたします。 まず、1ページをご覧ください。</p> <p>1、調査目的ですが、四條畷市の公共交通の検討を行うに当たって、公共交通の利用実態やニーズ等を把握し、問題点や課題点等を整理して、市に適した公共交通を計画するために調査することを目的としております。</p> <p>2、調査手法としては、市民アンケート調査とコミュニティバス利用者調査の2種類を考えております。</p> <p>3、調査の概要ですが、市民アンケート調査の調査時期は平成30年1月に実施することを予定しており、発送は1月4日、回答期限を同月15日の予定としております。</p> <p>調査方法は郵送配布・郵送回収で、調査対象は中学生以上、配布数は1,500世帯を考えており、過去の調査結果から35%は回収できると考えております。そこから回収数は525票と想定しており、1世帯平均2名の回答があると想定しておりますので、525票かける2の1,050人の回答数を得ることとなります。統計学上1,000人以上あれば集計は問題ありませんので、十分な集計ができるものと考えております。</p> <p>調査項目は認知度や利用の有無等となっており、次の3、アンケート調査項目にて詳しくご説明いたします。</p> <p>次に、2ページをご覧ください。コミュニティバス利用者調査の概要になります。コミュニティバスの利用者を対象として、1月20日土曜日、1月22日月曜日、1月23日火曜日の午前6時から午後10時の間での実施を予定しております。</p> <p>方法につきましては、利用実態、満足度等について、委託業者である株式会社長大阪支社様による調査員がコミュニティバスに乗り込んで聞き取りを行う調査と、四條畷駅及び忍ヶ丘駅バス停留所で調査員が待機して、バス待ちの人への聞き取り調査を行います。</p> <p>想定回収数は100～150票と考えております。</p> <p>次に、3ページをご覧ください。アンケートの調査項目になります。</p> <p>まず、市民アンケート調査の調査項目です。表の上から分類に沿ってご説明いたします。</p> <p>属性としまして、居住地、性別、年齢、自動車運転免許証の有無など、こういった利用者なのかといった属性把握に活用します。</p> <p>ふだんの生活での外出としまして、主な目的、目的地、頻度、移動手段についての内容で、公共交通の利用実態把握に活用します。</p> <p>路線バスに関する意見としまして、利用の有無、満足度についての内容で、路線バスの利用実態把握に活用します。</p> <p>コミュニティバスに関する意見としまして、認知度、利用の有無、利用しない理由、利用する理由についての内容で、コミュニティバスの利用促進の検討に活用し、また、満足度など、コミュニティバスの改善の検討に活用します。</p> <p>今後の公共交通の内容としまして、公共交通の連携、公共交通の拡充は、連携や拡充について考えられることや、そのほかの具体的な意見を、また、その他公共交通は、連携・拡充以外に考えられる公共交通についての意見とした内容で、公共交通の連携・拡充の検討に活用します。</p> <p>今後の公共交通としまして、利用目的、行きたい場所、頻度、利用時間、利用意</p>

	<p>向についての内容で、どういった場所、時間などのニーズがあるかを把握し、新たな公共交通の検討に活用します。</p> <p>最後に、公共交通に関する自由記述としまして、改善検討に活用できる意見を把握いたします。</p> <p>次に、4ページをご覧ください。コミュニティバス利用者調査の調査項目になります。</p> <p>利用実態としまして、乗車・降車したバス停留所、目的地、目的、利用頻度、往復の利用、自宅からバス停までの距離についての内容で、利用者の実態把握、バス停留所の位置や増設の検討に活用します。</p> <p>満足度としまして、運行本数、料金、鉄道への接続等についての内容で、利用者の実態把握に活用します。</p> <p>今後についてとしまして、具体的な改善要望、今後の利用意向についての内容により、改善に関する検討に活用します。</p> <p>次に、公共交通に関する市民意識調査の内容についてご説明いたします。資料の3-2、四條畷市公共交通に関する市民アンケート調査ご案内(案)をご覧ください。</p> <p>アンケート調査票の回答に先立った案内でございます。表面に、調査の趣旨としまして、市内の公共交通について市民のニーズ等を聞くものであることと、調査の概要としまして、住民基本台帳から無作為抽出と、公共交通に係る市民ニーズ等を把握する目的外の利用は行わないこと、回答の期限について記載しております。</p> <p>調査の回答の仕方としまして、中学生以上を対象としていること、1アンケート調査票に4人まで記載できること、問い合わせ先について記載しております。</p> <p>裏面をご覧ください。アンケートの前に、本市コミュニティバスがどのようなものかわかっていたかのように、ルートの便数、運賃、運行にかかる事業経費などを記載しております。</p> <p>次に、資料3-3、四條畷市公共交通に関する市民アンケート調査票(案)をご覧ください。これは実際に配布する調査票になります。</p> <p>1ページは、まず記入方法、回答の期限、問い合わせ先を記載し、以降は、資料3-1の公共交通に関する市民意識調査実施計画(案)、3、アンケート調査項目、1、市民アンケート調査でご説明しました分類項目の属性、居住地から公共交通に関する自由記述まで、この分類項目に対応した形で質問1から質問8までの構成となっております。</p> <p>なお、2ページ以降は、中学生以上の4名までが記載が可能となるように回答欄を4つ設けております。</p> <p>内容の説明は割愛させていただきます。</p> <p>なお、実際に配布する市民アンケート調査ご案内と市民アンケート調査票の漢字及び片仮名については、ルビを振った形で配布いたします。</p> <p>まことに簡単ではございますが、以上で資料3-1から資料3-3の説明を終わらせていただきます。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいま、事務局から公共交通に関する市民意識調査についてご説明をいただきました。これに関しまして、ご質問、ご意見等がございましたらぜひよろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>こちらのアンケート調査ですけれども、資料3-1のほうに記載いただいていますとおおり、過去に市のほうで平成26年度に実施いたしました総合計画の回答状況等も参考にしながらということでご説明がありました。</p> <p>私どものほうで行ったアンケートでございまして、回収率、回収数の部分ですけれども、未到達が15件ございまして、厳密に言えば回収率が35.1%ということで、修正をお願いしたいと思っております。</p>

<p>会長</p>	<p>35. 1%の回収を得るに当たりまして、調査期間を2週間設定しておりました。先ほどものご説明の中で1月4日発送の1月15日期限ということでご説明があったのですが、お正月過ぎにすぐということもありますので、できれば2週間確保されたほうがしっかりと回収ができるのではないかと思います。</p> <p>以上です。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>委員の皆さんにはその35. 1%に資料を書きかえていただきまして、配布回収期間について、事務局いかがですか。</p>
<p>会長</p>	<p>まず、資料3-1の市民意識調査のパーセンテージが間違っておりまして、申しわけございません。この場をおかりして、35. 1%ということでご訂正のほうをよろしく願いいたします。</p> <p>それと1点、アンケートの期限ということですが、この実施計画にもございますとおり2週間程度ということで想定しておりまして、今、委員のほうからもご指摘もいただいたということで、回答期限が15日になりますとやはり日数的に少ないということが考えられます。</p> <p>より多くの方にアンケートの回答をしていただきたいということを勘案いたしまして、1月19日の金曜日ということであれば実質2週間確保できますので、事務局としてはそういう形での実施を考えているところでございます。よろしく願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございます。ぜひ、ちょっとでも長いほうが回収率が上がると思いますので、よろしく願います。</p> <p>それとあわせまして、資料3-2ですが、これは実際にお配りさせていただくご案内文書になるのですけれども、これの一番初めの「アンケート調査について」というところに日付が入る欄がございます。これにつきましては1月19日金曜日という形で訂正させていただいて発送させていただくということで、やらせていただきたいと思っております。</p> <p>それとあわせまして、日にちに関するところでございますけれども、資料3-3をご覧ください。資料3-3につきましても、「ご記入にあたってのお願い」というところで、平成30年1月15日ということで日付を書いている欄がございますので、そこにつきましても平成30年1月19日の金曜日という形での修正をさせていただきますたいと存じます。</p> <p>それとあわせまして、日付に関しましては、ページをめくっていただきまして最終の11ページでございます。11ページにつきましても同じように日付が入っている欄がございますので、30年1月15日と書いていますけれども、ここにつきましても30年1月19日の金曜日という形での修正をさせていただいて発送をさせていただきますたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、ご質問、ご意見を受けたいのですが、私からも1つだけ先にお聞きします。</p> <p>コミュニティバス利用者調査のほうですが、住民アンケートのほうは中学生以上が対象者ですが、こちらはどうなっているのですか。乗客の中に幼稚園の子がいたら対象者として聞くのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>基本的には中学生以上で回答できる方としておりまして、ご家族であればご家族に聞いてということで考えております。</p>

会長	<p>中学生以上であれば大丈夫ですよ。それこそ小学生だと、知らないおじさんにバス停で声をかけられたということもありますので。</p>
委員	<p>すごく庶民的な質問ですけれども、このアンケート実施について、今回この公共交通に関する市民のアンケートで、よりよくしていこうという方向と、先ほどバスの会社の方が言われたようなもっと利用してほしいという意見と双方あって、これを進めていくにはすごく壮大なことが行われるのだなと思って聞いているのですけれども、このアンケート実施を無作為に何名とかというふうな回答で、回収率35.1%、これが多いかどうか、私は主婦なのではっきりわからないのですが、実際に市が現実化していきたいときに、市民の声ってなかなか通らないというイメージを持っています。</p> <p>その中で、私は岡部小学校の近くに住んでいて、バスを利用しない、バス空白地域のまさに①の中に住んでいるのですけれども、バスというのは身近ではない。そういう無作為にアンケートを実施すると偏りが出るのではないかなというイメージがあるのですが、バスをあまり使わない地域、あとはバスの空白地域だけ使いたいと思っている人が多い地域、頻繁にバスを使っていてバスが生活の身近である地域、何かそういうニーズ、一気にアンケートしたからといって、実現しようとするものに対して身近な声がほんとうに聞けるのかなという疑問があるのですけれども、今やろうとしているアンケートで何かいろいろ見えてくると考えられてこの無作為に選ばれた何名かにアンケートを行うのでしょうか。</p>
会長	<p>わかります。</p>
事務局	<p>無作為というのは逆に言うと平等にということですので、バスを使っている地区、使っていない地区、逆に言うと、バスを使っている地区と使っていない地区がわかりませんので、そこがわかるようにどの地区にも配るということになります。それでもって、この地区のあたりは使っている、使っていないというのがわかります。</p> <p>今現在この方は使っているか使っていないかは正直わからない部分がありますので、使っている、使っていない地区を含めて全て平等にとるということです。</p> <p>人口が多いところは当然多くなりますし、少ないところは少なくなるというとり方になります。たとえば、人口の世帯を上から取り出していく、平等にとっていくというふうなとり方になります。</p>
委員	<p>この場で話をしている、ここではうまくいっているけど、実際の声が上がってきていないのではないかなという何となくイメージがあり、それは市のほうでこのアンケートを実施して確かな意見がどんどん上がってくるとしてやっているのかなという疑問があったのですが、それは確実に意見が吸い上げられるという自信のもと実施されるのでしょうか。</p>
事務局	<p>そういうことです。</p>
委員	<p>先ほど委員がおっしゃった疑問というのはすごくよくわかりまして、確かにアンケートというと人口分布になりますので、人口が少ないところの意見がとおりにくいのではないかと。この意見のほうはよくわかるのです。</p> <p>これにつきましては、現在、11月に、先ほど委員のほうからもありましたが、各自治会さんを通していろんな地区の課題を上げていただきまして、実際に市長が地区のほうに出向きまして、対話集会という形で市民のみなさんとお話しさせてもらっている機会がございます。</p> <p>その中で、私も参加させてもらったのですが、道路のお話であったり、バス</p>

	<p>のお話であったり、様々な問題の話が出ております。このバスの問題につきましてはかなりたくさんの方の地区の中でも出ているということで聞いておりますので、特にその全ての地区のほうからも上がってきている意見等とかもあわせて、利用実態、アンケート、そういったものを複合的に見た中で考えていくことかなと思っておりますので、その地区からの課題というのは行政としてもしっかりと受け取っているということで考えていただいて結構かと思っております。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p>
会長	<p>我々委員も、アンケートの結果が出てきたときに勘違いしないようにしなければなりません。アンケートの結果だけの話ではないと。位置づけとして、アンケートで具体的な情報を得て、市の全体的なお話を聞くといった中で取り扱っていくということだと思います。</p> <p>念のため確認ですが、このアンケートは小学生の自由研究ではないので、「はい」と「いいえ」で「はい」が多いからこっちにしましょうとかいう話ではありません。乗る人はなぜ乗っているのか、乗らない人はなぜ乗らないのかというような課題抽出をしたいわけであって、集計的に「はい」が何%とかいう話ではないと思っております。そうでないと、人口の粗密ということもあります。</p>
委員	<p>アンケートの今のことはわかったのですが、私も委員と同じ意見ですね。ちょっと聞いておいていただきたいと思っております。やっぱり1,000人で無作為ですというよりも、資料2の5番ですか、地区別に5つの地区に分かれているところから、せめてこの中の無作為で抽出とかすると、ちょっと地域による現状というのがわかってくるのかなと思っております。無作為ですということでお話ですが、私も委員と同じようにちょっと無作為ですというのはどうなのかなと思っております。</p>
会長	<p>事務局お願いします。</p>
事務局	<p>先ほどの無作為の調査ですけれども、南野一丁目とか二丁目とか三丁目とか全町に地域がございます。その地域に全て割り当てるということになっておりますので、地域によって出てこないところがあり、アンケートが行かないという形ではございません。あくまでも全地域に対して世帯数に応じた割合に応じてアンケートを配っているということですので、場所によってはアンケート調査が行かない地域があるということではございませんので、よろしく願いいたします。</p>
委員	<p>わかりました。ありがとうございます。</p>
委員	<p>働いている者の立場から、私もバス運転手出身ということでちょっと意見をさせていただきます。</p> <p>アンケート調査の項目内容ですけれども、私もバスの運転手ということで、第一は安全運転、それと定時制の確保、こういったことを常々思いながら運行しておりました。その中で、皆さん最近ご存じというふうに思いますけれども、高齢者による運転操作ミスによる事故が非常に全国的に発生しているということで、四條畷市におきましても高齢化、超高齢化社会がこれから訪れるということで、例えばこのアンケート調査の中に免許証の自主返納の内容について、そういった部分が調査の対象としてできないのかということをお聞きしたいです。</p> <p>ほかの市で、事例といたしまして、免許証を高齢者が自主返納された方については、公共交通の利用のカードであるとか、そういったところを配付することによって、高齢者が公共交通、当然利便性が向上しなければなかなか難しい話ですけれ</p>

	<p>ども、そういった部分を推進するという部分でアンケートの中に入れられないのかというところを1つお聞きしたいなと思います。</p>
会長	<p>いかがでしょうか。自主返納のトピックはかなり絞られた話だとは思いますが、例えば今後のところに、公共交通がこうなっていくことでみずからの行動変容みたいな項目というのはあってもいいかもしれないですね。</p> <p>いや、基本的には回収率のこともあり、質問が結構盛りだくさんで、あまり何でも増やすことは考えなければなりません、そのあたりはいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>すいませんが、もう一度自主返納のことにつきまして、例えばどの項目のところに入れるとか、その辺の具体的なお話を再度、申しわけございませんがお聞かせいただいてもよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>属性のところ免許の有無だとか自家用車の有無というところがあると思いますけれども、そういったところに高齢者の方の自主返納という項目は増やせないのかなというふうに思います。</p>
事務局	<p>今言われているのは免許の有無のところ、例えば持っている方で自主返納する気がある、逆に持っていない方で、したのかとか、そういったことですか。</p>
委員	<p>当然、公共交通が満遍なく利用され、利便性が向上しなければできない話だというふうには思いますけれども、今、小学生の登校の列に突っ込んだとか、スーパーに突っ込むだとか、また、あるいは5階建ての駐車場から転落したとか、そういったことが全国で発生していると思っていますので、そういったことを、公共交通の利便性が向上すれば当然そういった自主返納されると思いますし、路線がもっと充実する必要があるのではと思うので。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>にわかには判断しにくいですか。</p> <p>私の個人的な意見としては、初めの属性のところに入れるのは、アンケートの意図が、高齢ドライバーの課題に関するものではないので、少しそこは違和感があるかなと思うのですが、質問7の「今後の公共交通の利用について、どのように思われていますか？」という部分で何かちょっと工夫できないかとは思っています。</p> <p>「現在は利用していないが、将来は利用したいと思う」という中に、もし便利になったら免許証を自主返納して将来利用したいと思うという話が、どれだけあるのかわかりませんが、あり得る話なので、この後ろのほうの質問7のあたりで何か工夫する余地があるのであれば考えていけたらなと思うのですが、よろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>はい。そうしましたら、質問7のところ、何らか入れられるような形で考えさせていただきますと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p>
委員	<p>先ほど委員のほうからご発言があったように、田原のほうでも事前にアンケートをとらせていただいた中で、高齢者の方というのは、「今は免許を持っているが、自主返納を検討している」という非常に切迫されたご意見がありました。</p> <p>そういうことを考えますと、例えば2ページの2-4のところ、「持っている」「持っていない」だけではなく、「持っているが、自主返納を検討している」というのを、もしかしたらそちらに入れたほうがいいのではないかと思います。</p>

	<p>最後に7のほうで出てきたら、検討されていることは「持っている」「持っていない」の項目だけでずっときて、最後で出てくるような気がするのですが、ちょっとその辺、一度また事務局でご検討してください。</p> <p>それと、もう1つお願いとしてあるのですが、田原地域のほうでアンケートを事前にとらせていただいた中で、6ページ、7ページのところでコミュニティバスの項目ですが、コミュニティバスの運行で非常に満足度が低い理由としまして、鉄道との連携が非常に悪いというのが調査で出ていますので、できましたらコミュニティバスの項目について、例えば5-5とか5-6で「鉄道との接続について」という項目を入れていただけたら明確化できるのかなと思いますので、よろしくお願います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p>
事務局	<p>今のご意見に対しまして、まず6ページですけれども、今委員がおっしゃられた「鉄道への接続」という項目でございます。それにつきましては、hが今のところ「全体の満足度」という形になっておりますので、gの次にhという形で「鉄道への接続」という項目を入れさせていただいて、hをiに訂正させていただいて、「全体の満足度」という形でのつくりをさせていただきたいと思っております。</p> <p>それとあわせまして、関連している項目が5-6、7ページでございますが、そこにも関連してきますので、最終的に8番として先ほどと同じ項目で「鉄道への接続」という項目を入れさせていただきたいと考えております。こういう形にさせていただきたいと思っております。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>あと、自主返納の話。2-4というのも聞いてみればそうかなと思ったりもしますので、ここは我々に預けていただいて、どちらに入れるかは考えさせていただければと思います。</p> <p>今、鉄道との接続についてというのがありましたが、この項目立て、選択肢について、これも理由としてあるというようなものがあれば、ぜひ教えていただきたいと思っております。</p> <p>例えば行き先の施設、7-1で大事なものが抜けてるのではないとか、コミュニティバスを利用しない理由、利用した理由、こういう理由もあるのではないかなというような話があればぜひお願いしたいのですが。</p> <p>市内の商業施設は分割しなくても大丈夫ですか。小さいスーパーとイオンモールでは何か交通行動が変わりそうな気がします、よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、一応はこのアンケートの形でやらせていただくということで、今いただきましたご意見につきましては修正していきたいと思うのですが、事務局から説明がありましたようにすぐ発送しなければならないということですので、会議が終わった後に私と事務局のほうで修正させてもらうということで、詳細については一任させていただいてよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>私どもで一任を受けてしっかりとご意見を反映できるようにするというにさせていただきます。</p>
委員	<p>四條畷市民の意識調査ということでアンケートをとられて、これはいいと思うのですけれども、今後、企業とかにはアンケートとかするご予定とかはあるのですか。</p>

<p>会長</p>	<p>この資料2のところ、かなり四條畷に来られている方とか四條畷市内で通勤・通学されている方とかいらっしゃると思うのですが、そういう企業とか学校とかはアンケートするご予定とかはあるのでしょうか。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>いかがですか。市が考える公共交通は、それは市民を第一に考えないといけないですけども、一方で、市外から通勤している人が乗っていただければいい話と思います。</p> <p>事務局ではアンケートは今のところ考えていないようですが、貴重なご意見として伺っておいて、それこそこのアンケートだけで決めるのではなくて、各方面からの意見を、先ほど言いましたように位置づけがあって、市民の声も聞くと、その一連の流れの中で考えていただければなと思います。</p> <p>同時に、さっき言い忘れましたけども、このほかの意識調査ですよ。直接交通には関係のない内容なのかもしれませんが、単に回収率の参考にするだけではなくて、様々な調査を参考にしていって総合的に判断できればなというふうに思っています。</p> <p>よろしいでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>ちょっとよろしいですか。</p>
<p>会長</p>	<p>どうぞ、お願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>私どもの田原地区の要望ですけども、四條畷のイオンへ直通バスを出していただきたいと。</p> <p>四條畷イオンというのは、田原地区あるいは奈良、生駒のほうでも人気があるのですよ。大きいことと品物がいいということで、女性の方にも広がっています。だから、そういうところでバス会社のほうももうかるだろうと思います。</p> <p>コミュニティバスでは、往復500円かかり、仮に忍ヶ丘からイオンに行くのに幾らかかるのかわかりませんが、プラスアルファの往復運賃がかかるわけで、奈良県のほうへ行ったほうが良いという話も聞いています。</p> <p>田原地区などに務めている女性の方からも四條畷のイオンはいいという声を聞きますので、そのあたりもよく考えて、よろしくお願ひしたいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>選択肢として直通バスの運行について確約はできませんが、いろんな諸事情があり、検討課題だと思います。</p> <p>昔は、コミュニティバスは行政がやるから駅につながらないとだめだという話でしたが、今では、利便性という意味では商業施設は大事ですので、全然、商業施設を結ぶことに抵抗はなくなっていると思います。</p>
<p>委員</p>	<p>このアンケート、出されるときには住民に周知って何かされていますか。何もなしで、いきなり送るのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>このアンケート内容につきましては、本日、会議の中で修正等があると考えておりました、この会議を終え、修正を行った後にホームページのほうで調査の案内ということを出させていただいて発送させていただこうと考えております。</p>
<p>会長</p>	<p>他の市町村で何か事例はありますか。</p>
<p>委員</p>	<p>ホームページだけであれば見ている人が限られるので、そこがどうなのかなと。</p>

	<p>こういうアンケート、役所から来ているアンケートなどの文書は、送りつけたらなかなか書いてくれないのが実情だと思うのですよ。私どもも送りつけるだけなので、なかなか回収が困難というところになりますけども、そこを回収率を上げようとすると、何か事前に、ホームページだけでなく、各区長さんとかおられるのであれば、そういうところで今度こういうアンケートを、市として交通を考えるのだよと、住民としてやっぱりバスに乗ってもらわないと事業者も撤退していくよというところで、できれば周知をしていただけたらなというところです。</p>
会長	<p>広報は15日の配布で間に合わないですね。</p>
委員	<p>ちょっとよろしいですか。前回、各地区の問題点のときは、区長会でありましたので、臨時に各地区の役員を集めて趣旨を説明して、それから流したので2週間ぐらいかかりました。</p> <p>また、その前に何か調査があったと思うのですが、そのときも各地区に説明に行ってもらい、それからアンケートを出してもらいました。</p> <p>直接送りつけたら区長のほうに文句が出るというところもありますので、事前に自治会の組織に流しておけば、この話をもっとスムーズにいくかなと思っております。</p> <p>だから、ほんとうに1月中に調べる必要があるならば、もうちょっとほんとうは正月明けに自治会の会議をやったときか、こちらから臨時にそういう情報を流しておくというのは非常に大事であり、今おっしゃったとおりに思います。</p> <p>後で絶対苦情が来ることになります。もし時間的な余裕があり、1月の19日の制約がもう少しずらすことができるなら、逆に区長を通じてこういう調査をやりますよという話を地区全体に回覧で流しておいてもらえばいいと思います。</p> <p>以上でございます。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>その時期的な制約等についてはどうですか。</p>
事務局	<p>今の予定では先ほど申しましたように年度内に皆さんのご意見をいただきながら地域公共交通計画の原案を立てようということとなっています。少しタイトスケジュールの中でお願いしており、皆さんにアンケートをいただきまして、それをまた盛り込んでということになるので、日程的にもかなり、かかるものとなります。アンケートの実施をずらすと、地域公共交通計画の原案そのものが少し年度をまたがるようになるということになります。</p> <p>年末が押し迫っているのですが、例えば区の地元の方に無理をお願いして、今日、明日に掲示文書を作成し、回覧がお願いできるものなのか。区長様が本会議に3人出ていただいていますけど、それ以外の地区もございますので、その辺は一度相談をさせていただきたいと思います。</p> <p>ホームページであれば。すぐ市でアップできますけど、今、委員がおっしゃっていましたがように回覧をするのであれば地区にご迷惑をおかけすることになりますので、その辺、実際回覧が日程的なものとして、地区としてそうしていただけるものなのかということもあります。</p> <p>当然、地区によって微妙に日程のずれもありますので、日程についてできる方法を少し探らせていただきたいと思いますと考えております。</p> <p>前後しますが、先ほどの地元の企業の方にアンケートをしないのかということに関しまして、原則、企業や学校でも市内にお住まいの方は先ほど言った地区ごとに抽出しているのです、市内から市内へ移動されている方はそこで一定網羅されていると考えております。</p> <p>また、市外から来られた方に関しましては、交通機関を利用される方は四条驛駅や忍ヶ丘駅で3日ですけどもコミバス利用者調査をさせていただきますので、</p>

	<p>その中でいただいた意見を、少し聞き方、内容は違いますが、今回取り込めるというふうに考えておまして、市内の企業や教育施設に特定したアンケートそのものは現在の時点では計画をしていないという状況でございます。</p>
委員	<p>そうするとコミュニティバスの利用者調査というのは市内・市外関係なく、市外の人もそのバス停にいたらその対象になるということでしょうか。</p>
事務局	<p>はい、そうです。基本的に乗る方ですので、乗る方は市外・市内には関係がありませんので。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p>
会長	<p>全数じゃないですけども、市外から工場などに来ている人の実態も少しわかってくるということですね。</p> <p>少しあいだをとるようですけども、時期的な制約は動かしにくいということで、広報が無理という話はありませんでしたが、回覧等でなるべくなら区長さんにご連絡いただいて、アンケートを実施するのでよろしくという話をしておければと思います。</p> <p>また、アンケート数ですが、当初の判断では、抽出世帯数は1,500世帯だから、世帯数だけでいけば、仮に人口が5万人とすれば、抽出率は3%程度です。人でいけば1,500世帯であれば4,000人ぐらいになり、人口5万人に対して10%いかないぐらいですので、区長さんを通じた周知を行ったとしてもアンケートに答えてもらえる人は10分の1以下となると、10人に1人以下ということですね。</p> <p>そういうことも考えて、あまり広報のことは考えなかった事情があるとは思いますが、苦情などで区長さんに迷惑がかかることもあるので、周知について話が伝わるようにしていただければと思います。</p>
副会長	<p>委員がおっしゃいましたように、回覧をするということになれば、今度の13日となり、アンケートの発送には間に合わないということ。また、その回覧については、期間的にも19日の回答期限では無理な話です。</p> <p>だから、一般に見る見ないは別として、広報板にポスターを貼るというようなことではできませんか。というのが、区長会は12月はございません。1月13日が役員会でございます。1月19日が区長会の定例会ですから、その締め切りの日に区長会に話が出てくるようになることから、一時的にそういうことを皆さんに周知するのであれば、ポスター等で行えばと思います。</p> <p>正月の間にポスターを貼るのであれば区長さんも協力をしてもらえるとは思いますが。回覧はもう1カ月ずらしてもらわないと無理だと思いますので、その辺を考えてください。</p>
事務局	<p>どうもありがとうございます。</p> <p>副会長のご提案のとおり、市としましても、交通会議には区長さんが3名おられますけど、ほかの区長さんもポスターで行えるよう、市の者が区長さんにお渡しするのに回らせていただきますので、その中で、先ほど委員もおっしゃいましたように、区長さんのところにアンケートの内容等について電話がかかっても困りますので、交通会議の中でそういう意見をいただいたことをあわせて、その辺を区長の皆さんに説明を行い、まことにお手数ですけど、ポスターを掲示板に貼っていただくよう配布をお願いしたいと思います。</p> <p>地区として回覧ができるどころとできないところもあり、市が決めたタイトなスケジュール中ですが、早速各区長さんをお周りして、ポスターの配付のお願いと、</p>

<p>委員</p> <p>副会長</p> <p>会長</p>	<p>ポスターを広報板に貼ることと、今回のアンケートのご説明をさせていただくということによろしいでしょうか。</p> <p>掲示板用は、A4、1枚でつくってもらえばそれでいいと思います。</p> <p>25日からは、26日からの歳末警戒もあることですので、その中である程度の人には周知ができると思います。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>いい案をいただきましたので、何とか周知をされるような方向で考えていただき、周知をしっかりとお願いできればと思います。</p> <p>では、事務局のほうからあらかじめ定められた議題は終了いたしました。次第でいえば4のその他ですが、何か委員の皆様から質疑等ございますでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>(質疑等なし)</p> <p>では、本日の議事につきましてはこれで終了ということにさせていただきます。どうも長時間にわたりましてありがとうございます。事務局のほうから連絡があると思いますので、マイクをお返しします。</p>
<p>4 その他</p> <p>事務局</p>	<p>本日の会議ですが、事務局にて会議録を作成の上、後日送付させていただきますので、委員の皆様にご確認をいただき、修正等がございましたらご連絡をいただきたいと存じます。修正後の会議録は送付させていただきます。なお、会議録につきましては本市ホームページで公開いたしますので、よろしくお願いたします。</p> <p>次に、次回の第2回会議の日程等につきましてご説明いたします。</p> <p>会議日程につきましては、来年2月中旬から下旬を予定しております。</p> <p>予定している議題としまして、(仮称)地域公共交通計画(原案)についてでございます。これは、本市の地域や公共交通の現状、本日の会議でご意見等をいただきました公共交通に関する市民意識調査結果の分析結果等をもとに、公共交通の問題・課題を抽出し、その問題・課題解決に向けた公共交通の基本方針、その基本方針を満足するための本市において導入が想定される対策手法を取りまとめたものでございます。この(仮称)地域公共交通計画(原案)について事務局のほうから提示させていただき、委員の皆様のご意見等をいただき、最終的に(仮称)地域公共交通計画(素案)として取りまとめて策定したいと考えております。</p> <p>なお、次回会議の開催案内等につきましては、文書にて送付させていただきますのでよろしくお願いたします。</p> <p>以上です。</p>
<p>5 閉会</p> <p>会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>では、ただいまをもちまして、平成29年度第1回四條畷市地域公共交通会議を閉会いたします。長時間のご議論ありがとうございました。</p>